



よら
い
や
ら
い
や

公民館





「自動」は本当に便利？

近年いろいろな機器が自動でできるようになってきました。でも、自動も善し悪しだなと思うことがよくあります。

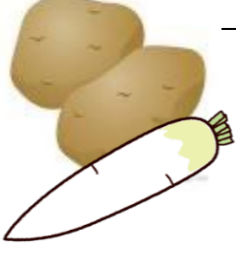
多目的トイレの掃除をしようと中に入ると、電気が勝手に点きます。ここまではまあ有難い方ですが、手洗い場を磨こうと手を出すと、勝手に水が出て袖がビシャビシャに。じっとしていると急に灯りが消え、もう自動はこりこりと手動に切り替えて作業をします。やれやれこれで安心。しかし、今度は掃除が終わってから自動に戻すのを忘れて点けばなしに……。我ながら何をやっているんだと情けなくなります。

皆さんにはこんな経験はありませんか？現在の自動は、まだまだ使い勝手が良いとは思えません。徐々に使い易くなるのでしょうか、やはり私はアナログ人間です。

それでも自動車の「自動運転技術」は早く進んでほしいですね。年齢を経るうちに、いつまで運転できるか不安になってきます。自動運転がレベル5（完全自動運転）まできたら、もしかして免許の返納の必要もなくなるのか？と淡い期待を寄せています。

とくさんの畑日記



さあ、じゃがいもは習った通りに植えたぞ！

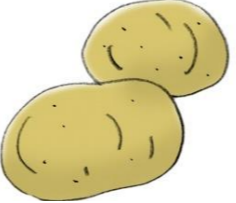
先月号では、「春の野菜づくり講習会」で習ったじゃがいもの植え方について書きましたが、そのときに学習したことを基に、じゃがいもを植えてみました。

植える前には、大きな芽を1つだけ残して他は摘んでおきました。これで子芋がたくさん付くのは少し防げるはずです。

次に、芋と芋の間に一握りの化成肥料を入れていたのを止めました。今までと違う植え方なので違和感がありましたが、まずは言われたとおりにすることです。これで「でか過ぎ」と「でこぼこ」は防げるはずです。

あとは大きくなってから土寄せ回数を減らして、根を切らないように気を付けることです。

言われたことはきちんとやりました。ちょうどいい大きさの、形のいいじゃがいもがたくさんできることを楽しみにしています。



形がきれいでちょうどよい大きさのじゃがいも

シリーズ 知ってましたか、青谷のこと？

本町にクレープ屋 オープン！

今回は、3月、本町に 283Crepe (ツバサクレープ) というクレープ屋をオープンした野藤佳佑・幸恵さん夫婦を紹介します。

◎クレープ屋を始めるまでは？

- ・私（佳佑さん）の生まれは青谷ですが、高校を卒業してから大阪にいました。大阪で結婚し、3年ほど前に帰ってきて、キッチンカーで焼きそば販売をしていました。



笑顔の野藤さん夫婦

◎どうしてクレープ屋？

- ・大阪に全国チェーンのクレープ屋があってとても好きだったのと、青谷にはクレープ屋が無いので、あったらいいなと思って始めました。

◎周りの反応は？

- ・「客が来るんか」「ここでは無理」「大丈夫か」とか、いろいろ言われました。

◎ここをどういう所にしたい？

- ・商売をしようというよりも、青谷にクレープ屋があったら喜ばれるだろうなという思いで始めました。「物より空間」というところでしょうか。

◎お客さんの反応は？

- ・クレープ自体を知らない人もあったので、始めて良かったと思います。ワッフルと間違えている人もいました。ここ（青谷）でクレープが食べられるとは思わなかったという声もありました。お年寄りの方が来てくださるのにも驚きました。

◎生後6か月の赤ちゃんも一緒？

- ・4月からは保育園に預けます。一緒にいて大変ですが、お客様が抱っこしてくれたり、共通の話題で話ができたりするので助かります。都会と違い、お客様との距離が近く感じるところもいいですね。

◎青谷について、どう思う？

- ・（幸恵さん）みんな温かくて住みやすいです。よそからもたくさん来てほしいです。

◎有り難うございました。

※やってみたかったからやるという、田舎にはあまりない価値観でクレープ屋を開店した野藤さん夫婦、そのチャレンジ精神で、温かい青谷の空間を楽しんでほしいと思います。

おわりに

3月24日に青谷かみじち史跡公園がオープンしました。このお便りが届くころには、行ってみたいという方がたくさんいらっしゃると思います。県がつくった施設ですが青谷にあるので、この公園と「青谷上寺朗」を青谷のシンボルにして、楽しい町にしたいものです。

